

【浅生であそぼ！あそあそ自然学校とは】

「浅生であそぼ」は、いわゆる「自然体験プログラム」です。浅生での自然体験の特徴は、生活空間としての自然体験プログラムです。

プログラムといっても、子どもにとっても大人にとっても強制された時間ではありません。遊んだり、寝たり、ひとりぼっちになって考えたり、山仕事の手伝いをしたり…。

自然の中での体験を通して自然に親しみ、学び、そして自分自身を再発見する場、それがあそあそ自然学校です。山里のもうひとつの学校ってとこかな。



浅生はこんなところです。

当日スケジュール

9:30 受付
10:00 ~ ウェルカムパーティ
10:30 ~ あそあそ
12:30 ~ 昼食
13:30 ~ あそあそ
15:30 ~ さよならパーティ
16:00 解散

今回のあそあそ

*ツリークライミング
*炭焼き & 焼きイモ
*しいたけほだ木づくり
*たけのこ掘り
*浅生探索ツアー

ツリークライミングってなに？

■木と友達になろう！

木に登り、自然と一体となり、世界を違う視点から見るのは楽しいばかりでなく、精神的治療にも役立ちます。目標を立てて自分の力で登っていく過程で勇気や自信がわき、枝に腰を下ろしたころには何ともいえない達成感に満たされるでしょう。

ツリークライミングの道具を工夫して木に登ると、どんなに高い木でも登ることができます。枝から枝へ渡ったり、木の上でキャンプをしたり、地面に下りずに隣の木に移ったりすることもできます。ツリークライミングは競争するための競技ではありませんので、登る高さは関係ありません。はじめは2mだっにかまわないのです。また経験を積んでいくと100mの高さのアメリカ杉に挑戦するクライマーもいます。これはあくまでも自分への限りない挑戦であり、決して他人と競い合うものではありませんので自分のペースで楽しみましょう。

また、ツリークライミングでは自然や木々を共有しあうことも大切です。家族や恋人と同じ木に登って時間を過ごしたり、ツリーボート（ハンモックの一種）を使って木の上でキャンプをしたり、そこからバードウォッチングや自然観察をしたりと、楽しみは無限に広がります。



■木は人に大きな影響を与えます

ツリークライミングを始めると自然に対する新たな興味がわき、木が友達になり、そして木もまた生き物であることを再認識するのです。それまで、人生の大半は下を向いて歩いてきた人もツリークライマーになると上を向いて暮らすようになります。地面から10mの高さの木に登り枝の上を散歩したりすると、初心者のツリークライマーたちは自分に自信が付き新たな自分を発見するのです。

前向きな自分が好きになり、恐怖や困難に立ち向かえるようになり、問題も問題ではなくなってくるのです。それまで不登校だった子どもが学校に行くようになり、仕事、生活や将来に対して前向きになった社会人の方もいます。家族間のコミュニケーションをとるきっかけにもなり、木の上の世界を共有することで自然に穏やかな気持ちになって思春期の子どもと話せるようになったという例もあります。



ツリークライミングジャパン（名古屋）

<http://www.treeclimbingjapan.org/>